

キネレットによる治療を受けられる皆さんへ

キネレット®皮下注100mgシリンジ 自己注射の方法

本剤の適正使用のために以下の記載事項をお守りください

- キネレットは、全身型若年性特発性関節炎および成人発症スチル病のお薬です。
- キネレットによる治療は、生後8ヵ月以上かつ体重10kg以上の方が対象です。

本剤の外観および各部位の名称



治療中の注意事項

- 治療中に体調が悪くなった場合は、医師・看護師・薬剤師にご相談ください。
(主治医以外を受診するときは、キネレットを使用していることを伝えてください。)
- 治療中は感染対策をしっかり行ってください。

【感染対策の例】

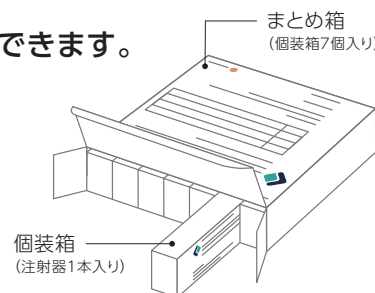
- ▶ 外出時は人混みを避け、マスクなどを着用する
- ▶ うがい、手洗いを習慣づける
- ▶ 睡眠を十分にとり、規則正しい生活を送る

- 治療中は生ワクチン※の予防接種を受けることができません。

※BCG(結核)、麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜ、ロタウイルス、带状疱疹の一部、インフルエンザ(経鼻ワクチン) など

保管方法

- まとめ箱または個装箱に入れたまま、冷蔵庫(2～8℃)で保存してください。凍結するのを避けるためチルド室、野菜室や冷気の吹き出し口付近には保管しないでください。
- 冷蔵庫から取り出した場合は、室温(1～30℃)で最大72時間まで保管できます。
※一度冷蔵庫から取り出したら再び戻さないようにしてください。
※室温で72時間以上経った場合は、必ず廃棄してください。
- 小さなお子さんの手が届かないところに保管してください。



注射する量

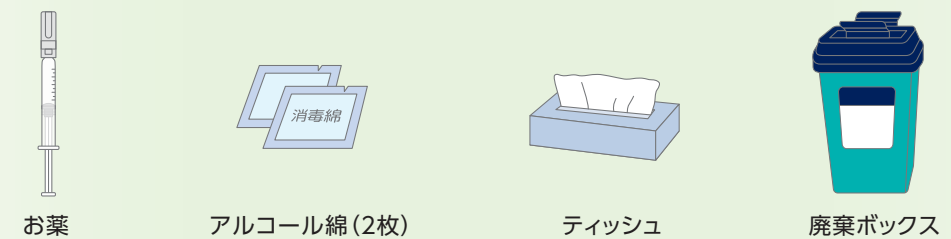
医師に指定された量を、1日1回、必ず注射してください。

注射前の準備

- ① 注射の30分前に冷蔵庫からお薬を1つ取り出し、個装箱に入れたまま室温に戻しておきます。

- ⚠ お薬を振り混ぜないでください。
- ⚠ お薬を湯せんや電子レンジなどで加熱しないでください。

- ② 注射の前に、机の上に次のものを用意します。



- ③ 手を石けんでよく洗います。

- ④ 薬液に異常がないか確認します。

正常な薬液は無色～白色の透明な液であり、半透明～白色のタンパク質性粒子を含むことがあります。

⚠ 自己注射の前に目視で確認し、明らかな塊や凝集、変色がある場合は、使用しないでください。

- ⑤ 注射する場所を決めます。

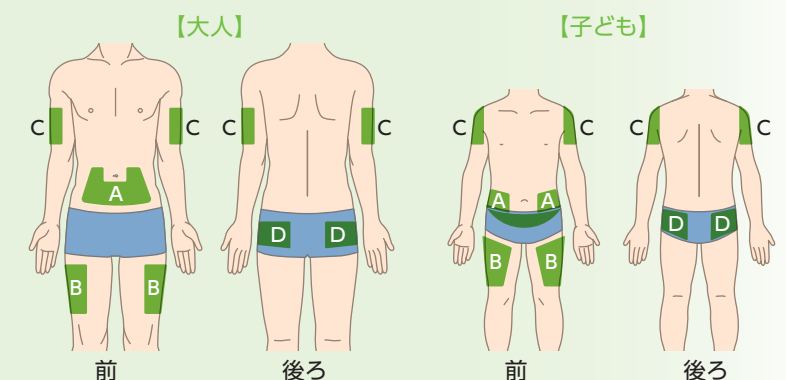
以下の場所には注射しないでください。

- ▶ 皮膚を押したときに痛みがある場所
- ▶ 赤み、しこり、内出血がある場所
- ▶ 傷あとや妊娠線がある場所
- ▶ 皮膚表面に静脈が見える場所
- ▶ 前日に注射した場所

注射に適した場所

- A 腹部(おへその周りを除く)
- B 太もも
- C 上腕部
※他の人に注射してもらう場合のみ
- D お尻
※他の人に注射してもらう場合のみ

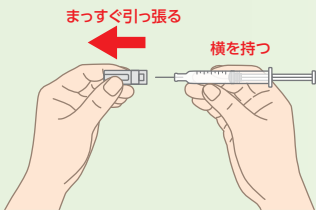
*AとDは子どもには適さない場合があります。



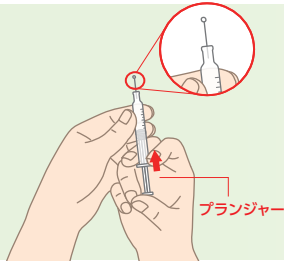
自己注射の方法

- ① 注射する場所をアルコール綿で拭きます。
注射が終わるまで服をめくったままにし、拭いた場所は触らないようにします。

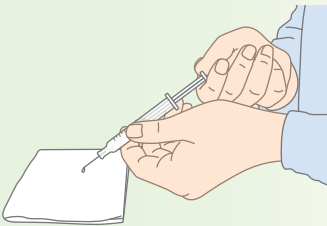
- ② 注射器の針キャップを外します。
注射器の横を持ち、キャップをまっすぐ横に引っ張ると、指を刺したり、注射針を曲げたりせずに外せます。



- ③ 注射針の先端まで薬液を満たします。
① 注射針をまっすぐ上に向けて持ちます。
② 注射針の先端に小さな薬液が見えるまで、親指でプランジャーをゆっくり押し上げます。

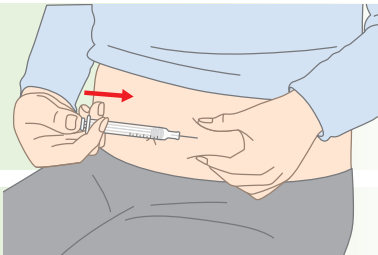


- ④ 体重が50kg未満の方のみ：薬液を注射する量まで減らします。
(体重50kg以上の方は、調節する必要はありません)
敷いたティッシュの上に、注射する量になるまで薬液を出します。
(注射器は両手で持つと安定します)

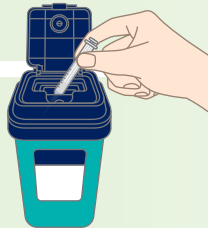


⚠ 注射する量は、医師・看護師・薬剤師の指示にしたがってください。
(薬液を出したティッシュの廃棄方法も同様です)

- ⑤ 注射する場所の皮膚をしっかりとつまんでから、注射針を皮膚に対して45～90度で刺します。



- ⑥ プランジャーを最後までゆっくりと押し切り、薬液を全て注入します。



- ⑦ 注射器を廃棄ボックスに廃棄します。
⚠ 注射針や余った薬液は必ず廃棄し、再利用しないでください。

- ⑧ 注射した場所をアルコール綿で30秒以上圧迫し、止血します。

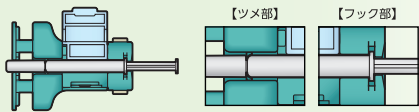
補助具を使った自己注射の方法

補助具に付属の取扱説明書もあわせてご参照ください。

- ① 注射する場所をアルコール綿で拭きます。

- ② 補助具に注射器をセットします。

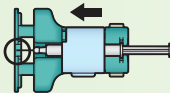
- ① 補助具のカバーを開け、注射器を溝におさめるようにセットしてから、カバーを閉めてシリンジを固定します。



- ② 補助具の本体両側のロックボタンを押さえながら後ろに引き、針キャップを外します。



- ③ 本体を押し込み、元の位置に戻してセット完了です。

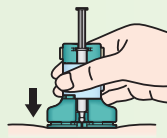


- ③ 注射針を真上に向けて先端まで薬液を満たします。

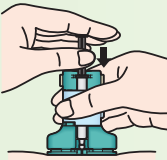
- ④ 体重が50kg未満の方のみ：薬液を注射する量まで減らします。
(体重50kg以上の方は、調節する必要はありません)

- ⑤ 注射します。

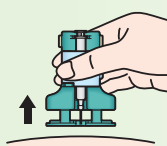
- ① 片手で補助具をしっかり持ち、台座を皮膚にしっかり当てて、ピッタリと密着させたまま注射部位に押し込み、針を刺します。



- ② 反対の手でプランジャーを一定の力でゆっくり押し、薬液を全て注入します。



- ③ 薬液を全て注入したら、注射針を抜きます。



- ⑥ 注射した場所をアルコール綿で30秒以上圧迫し、止血します。

- ⑦ 補助具から注射器を取り外します。

- ⑧ 注射器を廃棄ボックスに廃棄します。
⚠ 注射針や余った薬液は必ず廃棄し、再利用しないでください。